

キモい... ウザい... 子どもたちが何気なく使ってしまうことば。
もっと伝えたいことが心の中に隠れているのに。



ことばキャンプが育むのは、ほんとうの自分を伝えるチカラ。
ことばのチカラ。それは未来を生き抜く大きな原動力です。

ことばのチカラで自立しよう

私たちは、日本のすべての子どもが「ことばのチカラ」をつけて
自信を持って社会に巣立っていくことを願い活動しています。
めざしているのは、相手の話をよく聞いて、自分はどう思うかを考えてことば
や態度で伝えることができることばのチカラ。
自分も相手も大事にする「自尊他尊」のコミュニケーション能力です。

ことばキャンプとは

ことばキャンプでは、7つのチカラ（度胸力、論理力、理解力、応答力、語彙力、説得力、プレゼン力）の
トレーニングプログラム「ことばキャンプ」で、自分の気持ちも相手の気持ちも大切に、じょうずに伝
えることができるコミュニケーション力を身につけていきます。

7つのチカラ	ワークのねらい
理解力	聞く耳モードを覚え、聞く態度を身につける
度胸力	能動的に自分の意思を表現できるようになる
応答力	かみあった会話ができるようになる
論理力	論理的な話しができるようになる
説得力	ナンバリングなどわかりやすく話せるようになる
語彙力	比喩や他の言葉を使って表現できるようになる
プレゼン力	個性にあったプレゼンスを身につける



ことばキャンプの研修プログラム

社会的養護の子どもたちの自立支援

思ったことをうまく伝えられずに「むかつく」「うざい」ということばで感情を表現したり、単語だけの
会話だったり、ことばによるかかわりは苦手、という子どもたちがたくさんいます。

日本のすべての子どもたちにコミュニケーションする力をトレーニングしよう!と 2002 年に私たちの
活動が始まりました。児童養護施設を訪問する活動は 2008 年からスタートし、これまで関東圏を中心
にのべ111 施設を訪問し「ことばキャンプ」を届けてきました(2020年3月現在)。成育歴の中で親との
コミュニケーション経験の乏しさから「自分の気持ちや感情を的確に伝えることばを持たない」子どもや、
人とのかかわりが苦手な子ども、自己肯定感が低い子どもたちが、社会に出ていくために必要なコミュニ
ケーション力を入所中に行うトレーニングです。

コミュニケーション力が必要なのは子どもだけではなくありません。施設職員にとってもコミュニケーショ
ンについて学ぶことは、養育の質をさらに向上させるはずで。職員の皆様が受講することで、施設内
のチームワーク作りにも寄与することができます。

ことばキャンプのプログラムは、児童養護施設の子どもと職員の皆様ために考案されたコミュニケー
ション研修です。

かけがえのない自分を大切に、相手の気持ちも尊重するコミュニケーション力を身につけた子どもた
ちが、社会で自立できることを目的にしております。

1. 子ども向けプログラム

コミュニケーションの要素7つのチカラのトレーニングを
することで、子どものコミュニケーションスキルを向上し
言葉力を育てます。
自己肯定感の向上に寄与します。



- 〈プログラム例 小学生〉
- 話を聞く態度を学ぼう
 - 自分の意見を発表しよう
 - 相手の良いところを見つけよう

トライアル：子ども2回、職員1回
フル：子ども6回、職員2回
対象：小学生、中学生、高校生と職員
定員：10名程度（子ども）、職員（何人でも）
時間：1.5～2時間／回

*対象、回数をご希望に応じることができます。

2. 職員研修プログラム 時間：90分／回

① 新任職員研修
社会人としての自覚ができ、対人関係能力が身につきます。
養育現場ですぐ生かせるスキルと心構えを学びます。

- 〈プログラム例〉
- 自尊他尊のコミュニケーション
 - ほめる、しかる
 - 肯定的なフィードバック

② 中堅職員研修
中核を担う職員としてのスキルアップをめざします。
自分で考え自発的に行動する、次世代のリーダーと
なる人材を育てます。
仕事に誇りとやりがいを感じ、後輩をモチベートでき
るようになります。

- 〈プログラム例〉
- 信頼される聴き方
 - モチベーションをアップする
 - ファシリテーションで会議を活性化する



③ リーダー職員研修
組織の課題にアプローチする方法を考え実践します。
組織自体のモチベーションを高め、リーダーとしての自覚を
深めます。

- 〈プログラム例〉
- 組織の課題を考える
 - アプローチ方法
 - 実践レポート

3. 職員研修+子どもプログラム

より実践的な効果を生みます
職員研修プログラムをより実践に活かすために、と子ども向けプ
ログラムを組み合わせることができます。
上記職員研修の実践の場として子どもプログラムを使用します。

- 〈プログラム例 中堅職員研修+新任職員研修〉
- 新任職員として子どものアプローチを学ぶ
 - 中堅職員として新任職員をモチベートするスキルを学ぶ
 - 子どもプログラムで実践する



4. アドバイザー対応

施設の個性を生かし、施設内コミュニケーションを円滑にします
施設の色を生かし施設内のコミュニケーションをさらに良好
にするため、個別にアドバイザーをご依頼ください。

- 〈例〉
- 会議を活性化させたい
 - 職員中心で自発的に職務に努めてほしい